小作爭議ノ情勢

大阪府下小作爭議ノ發生ハ大正八九年頃ヨリ農村社會ノ恒常的現象トナリ爾來逐年增加ノ傾向アリテ大正十五年ノ三百八十六件ヲ最高潮トシテ昭和五年八十六件仝六年八十八件本年四十二件ヲ算スルニ至リタルガ近年ノ統計上ヨリ見ルトキハ其件數ニ於テハ稍減少シタルガ如キモ輓近農村ノ疲弊困憊ト思想界ノ變遷トニ伴ヒ地主對小作人ノ關係ハ著シク變化ヲ來シ從ツテ爭議手段モ妥協的態度漸次薄ラギテ地主ハ努メテ法律的手段ヲ採リ小作人ハ法廷戰ノ不利ナルニ鑑ミ專ラ大衆的直接行動ヲ以テ爭議ヲ有利ニ解決セントスル等其ノ動機ニ於テモ將又爭議手段ニ於テモ益々深刻尖銳化セントスルノ狀況ニアリ。